



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場会社名 AppBank株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6177 URL [http:// www.appbank.co.jp/](http://www.appbank.co.jp/)
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 宮下 泰明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役グループCF0 (氏名) 廣瀬 光伸 (TEL) 03-6302-0561
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	1,772	△40.4	△34	—	△69	—	△34	—
27年12月期第3四半期	2,973	—	737	—	704	—	453	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △34百万円(—%) 27年12月期第3四半期 453百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	△5.24	—
27年12月期第3四半期	70.60	—

- (注) 1. 平成27年12月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
 2. 平成28年12月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	2,274	1,096	1,096	1,096	48.1
27年12月期	2,688	1,129	1,129	1,129	42.0

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 1,094百万円 27年12月期 1,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

平成28年12月期の連結業績予想につきましては控えさせていただきます。なお、詳細な理由については、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) スタジオむらい株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年12月期3Q	6,798,000株	27年12月期	6,798,000株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	194,643株	27年12月期	200,000株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年12月期3Q	6,599,211株	27年12月期3Q	6,420,000株

(注) 当社は平成27年7月28日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成28年12月期の連結業績予想につきましては控えさせていただきます。なお、詳細な理由については、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取りまく経営環境におきまして、メディア事業の主たる事業内容であるインターネット広告市場は、前年を上回る売上規模が継続するなど、引き続き伸長傾向にあります(注1)。また、ストア事業に影響のあるスマートフォン端末保有率は上昇を続けております(注2)。一方で、9月中旬の新機種発売などによりスマートフォン関連商材の需要喚起はあったものの、端末販売店など他社店舗におけるスマートフォン・アクセサリ販売が拡大するなど、市場環境は競争激化の傾向にあります。

このような環境のなか、「You are my friend.」の経営理念のもと、当社グループはユーザーの皆様に対して“コンテンツの楽しみ方をお伝えする”ためのメディアとして、媒体価値の向上とともにユーザーとの関係構築を推進することで、AppBankブランドの価値増大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,772,860千円(前年同期比40.4%減)、営業損失34,542千円(前年同期は営業利益737,288千円)、経常損失69,882千円(前年同期は経常利益704,631千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失34,592千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益453,234千円)となりました。

(注1) 出所：経済産業省「特定サービス産業動態統計月報(平成28年8月分)」

(注2) 出所：総務省「平成27年 通信利用動向調査」

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

各セグメントの業績数値にはセグメント間の内部取引高を含んでおります。

(メディア事業)

動画配信の分野では、YouTubeやニコニコ動画におけるAppBankのチャンネル・ネットワークのトラフィックは堅調に推移しております。また、「AppBank.net」(Webサイト)につきましても、当社の強みであるゲーム関連に加えてスマートフォンの紹介など、より広範囲の記事作成に力を注いだ結果、ページビューは増加傾向にあります。イベントにつきましても、「AppBank ゲーム祭り」を8月に開催いたしました。加えて、「AppBank JAPANツアー」を7月は新潟、8月は北海道、9月は広島・京都にて開催し、多くの皆様にお楽しみいただきました。

スマートフォン広告市場の拡大に伴い、「AppBank.net」を中核とした自社媒体における広告収入は堅調に推移しております。昨年12月に発覚した不正送金事案の影響により、一部クライアントからの第1四半期以降広告発注の差し控えが生じておりますが、信頼回復に努め新たなクライアント獲得に注力したことで収益は伸長傾向にあります。アプリ内に広告を配信し、そのクリック数に応じてアプリ開発者に報酬が発生する広告プラットフォーム事業につきましても、広告収入は回復基調にあり、メディア事業の第3四半期連結会計期間の売上高は第1・第2四半期を超える実績となりました。しかしながら、第4四半期以降に開始を予定している新規事業の先行投資等が発生したことにより減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント合計では、売上高708,187千円(前年同期比56.6%減)、セグメント損失39,879千円(前年同期はセグメント利益630,467千円)となりました。

なお、平成28年1月19日付で連結子会社であるスタジオむらい株式会社は、当社に吸収合併され消滅しております。

(ストア事業)

実店舗及びEコマースサイト運営の双方で、動画チャンネルをはじめとした自社媒体群を通じてユーザーの皆様アイテムの魅力を伝え、購買体験に結び付けるというオムニチャネル戦略を継続しております。スマートフォン・アクセサリ販売事業において増加傾向にある競合店舗に対する優位性確保のため、モバイル保険をはじめとする新商品・オリジナル商品・コラボレーション商品の拡充とともにサービス・ホスピタリティーの充実と徹底に努めております。

店舗事業では、当第3四半期連結累計期間において、「AppBank Store くずはモール」(大阪)を7月にオープンし、開店記念イベントには多くのお客様にお集まりいただきました。また、9月からは約半年間の期間限定で「AppBank Store 横浜ビブレ」(神奈川)を出店いたしました。

Eコマースサイト運営では、AppBank Storeアプリのダウンロード数が30万件を突破いたしました。競争が激化

する環境下、雑貨やアパレルのオリジナルブランド「A+ (エープラス)」、「UPBK」を立ち上げ、スマートフォン・アクセサリ以外の商材を提供するとともに、催事等を実施し、ご好評をいただきました。当第3四半期連結会計期間のストア事業の売上高及び利益は堅調に推移しましたが、第1四半期連結会計期間のマイナス分を補填するまでには至りませんでした。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるセグメント合計では、売上高1,092,006千円（前年同期比21.7%減）、セグメント損失8,622千円（前年同期はセグメント利益92,511千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,274,332千円となり、前連結会計年度末に比べ413,720千円減少いたしました。これは主に、「現金及び預金」が409,125千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,177,900千円となり、前連結会計年度末に比べ380,303千円減少いたしました。これは主に、「未払法人税等」が228,020千円減少、「その他」が129,480千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,096,431千円となり、前連結会計年度末に比べ33,417千円減少いたしました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純損失」を34,592千円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社のビジネス環境において収益モデルに影響を与える事象が生じておりましたが、現在も限定的な影響が残っております。

このため、メディア事業につきましては、主力の動画広告事業については、市況動向の見極めに時間を要していること、また、第4四半期連結会計期間にて開始予定の新規サービス群の立ち上げ状況の確認に、なおしばらくの時間が必要であることから、連結グループとしての業績予想が困難であるため業績予想の開示は行いません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、スタジオむらい株式会社は、当社に吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及
び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい
う。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による
差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変
更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の
確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させ
る方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示
の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度につ
いては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業
分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将
来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,010,935	1,601,809
売掛金	326,436	204,810
商品	92,530	87,772
原材料及び貯蔵品	—	521
その他	55,363	190,819
流動資産合計	2,485,266	2,085,734
固定資産		
有形固定資産	73,311	70,427
無形固定資産	7,786	5,889
投資その他の資産		
長期未収入金	148,691	148,691
その他	121,687	112,280
貸倒引当金	△148,691	△148,691
投資その他の資産合計	121,687	112,280
固定資産合計	202,786	188,597
資産合計	2,688,053	2,274,332
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,609	142,959
1年内返済予定の長期借入金	300,677	311,716
資産除去債務	—	504
未払法人税等	229,163	1,142
その他	238,590	109,109
流動負債合計	936,040	565,432
固定負債		
長期借入金	592,533	583,325
資産除去債務	29,630	29,143
固定負債合計	622,163	612,468
負債合計	1,558,203	1,177,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,850	99,850
資本剰余金	289,320	290,459
利益剰余金	746,708	712,115
自己株式	△7,800	△7,636
株主資本合計	1,128,078	1,094,788
新株予約権	1,771	1,643
純資産合計	1,129,849	1,096,431
負債純資産合計	2,688,053	2,274,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	2,973,528	1,772,860
売上原価	1,504,674	1,078,240
売上総利益	1,468,853	694,620
販売費及び一般管理費	731,564	729,162
営業利益又は営業損失(△)	737,288	△34,542
営業外収益		
受取利息	178	166
受取配当金	—	4
為替差益	550	1,686
役員報酬返納額	—	2,220
保険解約返戻金	7,579	—
雑収入	987	1,035
営業外収益合計	9,295	5,112
営業外費用		
支払利息	5,799	7,501
過年度決算訂正関連費用	—	32,249
株式公開費用	10,500	—
貸倒引当金繰入額	18,835	—
雑損失	6,818	702
営業外費用合計	41,953	40,452
経常利益又は経常損失(△)	704,631	△69,882
特別利益		
新株予約権戻入益	—	127
特別利益合計	—	127
特別損失		
減損損失	12,310	19,179
固定資産除却損	—	956
特別損失合計	12,310	20,135
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	692,320	△89,890
法人税、住民税及び事業税	227,077	2,046
過年度法人税等	—	△18,738
法人税等調整額	12,007	△38,605
法人税等合計	239,085	△55,297
四半期純利益又は四半期純損失(△)	453,234	△34,592
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	453,234	△34,592

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	453,234	△34,592
四半期包括利益	453,234	△34,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453,234	△34,592
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	ストア事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,599,130	1,374,397	2,973,528	-	2,973,528
セグメント間の内部売上 高又は振替高	32,007	19,955	51,962	△51,962	-
計	1,631,137	1,394,352	3,025,490	△51,962	2,973,528
セグメント利益	630,467	92,511	722,978	14,310	737,288

(注) 1. セグメント利益の調整額14,310千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ストア事業」において、移転に伴い閉店が決定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。
なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては12,310千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	ストア事業			
売上高					
外部顧客への売上高	700,649	1,072,210	1,772,860	-	1,772,860
セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,537	19,795	27,332	△27,332	-
計	708,187	1,092,006	1,800,193	△27,332	1,772,860
セグメント損失(△)	△39,879	△8,622	△48,502	13,960	△34,542

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額13,960千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ストア事業」において、移転に伴い閉店が決定した店舗の固定資産について減損損失を計上しております。
なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては19,179千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。